

2019年10月17日

栗島火力発電所10号機の営業運転開始および6号機の廃止について
～栗島における電力の安定供給確保のためのリブレース工事が完了～

当社は、栗島火力発電所（新潟県栗島浦村、総出力：900kW）について、本日、新たに10号機の営業運転を開始し、既設の6号機を廃止いたしました。

栗島火力発電所は、1963年に1号機が営業運転を開始して以降、島内の電力需要の増加にあわせて、順次発電設備を増設し、電力の安定供給に努めてまいりました。

一方、以前の発電設備は経年化が進んでいたことに加え、保守部品の生産中止などにより、今後の保守が困難になることから、2014年9月より、7～10号機（総出力：900kW）を新設し、経年化が進んだ2～6号機を廃止するリブレース工事を進めてまいりました。

本工事では、島内の供給力を維持するため、1台ずつ新設と廃止を繰り返す「ビルド&スクラップ」方式により、これまで7～9号機を新設するとともに、2～5号機を廃止しており、このたびの10号機の営業運転開始ならびに6号機の廃止により、すべての発電設備を入れ替える工事が完了いたしました。

新設した設備の特長としては、発電設備の冷却方式を、これまでの海水冷却器による水冷方式から、ラジエータによる空冷方式にすることで、海域への温水の排出をなくし、環境負荷の低減を図っております。また、発電機の台数を、これまでの5台構成から4台構成にすることで、導入費用と運転費用の低減を図ることができます。

当社としましては、本工事にご理解、ご協力をいただいた地域の皆さまに感謝するとともに、引き続き、電力の安定供給に万全を期してまいります。

以 上

（別紙）栗島火力発電所リブレース工事の概要